

「窓から穴道湖を臨み」「広がる青空」
緑に恵まれた玉湯の丘で期待に応える病院を目指します。

玉造厚生年金病院広報誌

たまつくり

ノウ

No.17

2009.10



リニューアルいたしました!

夕映えとして創刊した広報誌を7月号より「たまつくりNOW」と改称しリニューアル致しました。

明るく、フレッシュな誌面づくりを心がけ地域の先生方や住民の皆様にも親しんでいただけるようつとめてまいります。

今後ともよろしく申し上げます。

Contents

検査室	2
コラム	3
事業報告	4
DPCのご案内	5
かかりつけ医のご紹介	7
お知らせ	8

診療支援の おおきな役割

検査室技師長 加藤雄司



医師が患者様を診察し診断、治療するにあたって、患者様の身体状態を検査して調べる必要があります。各種検査を医師の指示の元に検査を行うのが、臨床検査技師で当院検査室にも5名の臨床検査技師が在籍しています。臨床検査には、大きく分けて『検体検査』と『生理生体機能検査』の二つがあります。「検体検査」は、各種分野に分かれていて、血液、生化学、免疫血清、一般、細菌、輸血、などがあり、患者様から採取した血液、尿、便、細胞を調べ検査分析します。「生体機能検査」は、心電図、筋電図、神経筋生理検査、呼吸機能検査、脳波検査、動脈硬化検査、頸動脈エコー、心エコー、下肢エコー、腹部エコー等各種超音波検査などです。そういった様々な検査データを報告することで医師の診断治療に役立っています。これらのデータは、医師が、患者様の診断や治療方針を立てる一助になっています。また病気の早期発見や予防、治療効果の判断にも役立つので検査は重要なのです。

当院検査室も今年7月より電子カルテ導入に伴い各種検査機器とのオンライン化し検査結果、情報をより早く確実に医師、臨床側に伝えることで診療、診察の効率化も図れ、診療支援が、更に充実し信頼も増しました。

各病態や症状に応じた検査項目のセット化もし、各疾患の早期発見や安心安全医療にも貢献しています。今後さらに新しい検査の導入、感度の良い検査項目の選定を課題とし、各種研修会にも積極的に参加し見聞を広めるよう勤めています。

検体検査の流れを少し 説明しておきます

採血された検体血液を、遠心分離機を使用して3000回転で10分遠心すると血球と血清に分かれます。その血清には、生体臓器特有の成分が、様々に存在します。各種疾患で成分に変化が現れます、こ

の血清を機器分析装置にかけ測定して基準値より高値、低値、範囲内で身体状態が分かります。

最近インフルエンザの話題が、日々取り上げられていますので簡易検査のお話しをします。検体は、鼻腔ぬぐい液、滅菌綿棒を外鼻腔から鼻腔内に挿入し、鼻甲介を数回こするようにして粘膜表皮を採取、検体として提出されます。

インフルエンザ判定キットを使い10分～15分でA型、B型、陰性を判定しています。

但しインフルエンザに感染していても、検体中の抗原量が、キットの検出感度以下の場合は、陰性判定になります。初めは陰性だったが、後で陽性になったと聞くのもこのことです。一般にウイルスの抗原は症状が現れてから24時間後に最も検出されやすくそれ以前でもそれ以降でも検出率は小さくなります。そのため検査のタイミングと検体採取方法によってはウイルスが存在しても陰性となる可能性があります。

あくまでもこの検査は、補助診断検査です。必要に応じて検査を再度行うか、他の検査法の結果から総合判断を臨床にお願いしています。



回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、平成12年の介護保険制度と同時に、厚生労働省により導入されました。この病棟は急性期治療を終えても、いろいろの後遺障害のため、退院してすぐには日常生活を送ることが困難な患者さんに、訓練や援助を行う病棟です。



脳神経外科医師
佐々木 亮

回復期リハビリテーション病棟への入院条件は、発症あるいは手術後2ヶ月以内（疾患により1ヶ月以内）の脳血管疾患、頭部外傷、大腿骨頸部骨折等が対象となり、入院期間は疾患により60日から180日と決まっています（右表参照）。この期間は回復期といわれ、この期間の集中的リハビリが最も効果的であると考えられています。

当院の回復期リハビリテーション病棟では、食事、排泄、移動、会話などの日常生活動作の能力向上による寝たきりの防止、家庭復帰、社会復帰を目指したリハビリテーションプログラムを医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、義肢装具士などの専門職のチームが共同して作成し、これに基づくリハビリテーションを集中的に行っています。

リハビリテーション医は患者さんの入院時、神経学的検査と画像診断等により、リハビリの基本計画、ゴールの設定、入院期間を決定します。また、脳血管疾患にしばしば合併する、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心疾患、腎疾患などの疾患管理をするとともに再発予防に努め、介護保険の主治医意見書の作成、身体障害者手帳の申請に必要な診断書の



脳血管疾患、脊髄損傷等の発症又は手術後2カ月以内の状態	150日限度
高脳次機能障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多発性外傷の場合	180日限度
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折又は手術後2カ月の状態	90日限度
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2カ月以内の状態	90日限度
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経・筋・靭帯損傷後1カ月以内の状態	60日限度

作成等を行っています。**看護師**は全身管理とリスク管理、心理面への支援など、入院生活を24時間見守り、日常生活動作の拡大と自立支援を行っています。**理学療法士**は日常生活に必要な移動、歩行などの基本動作を、生活背景を想定しながら患者さんに合った方法で訓練しています。**作業療法士**は患者さんの自宅での生活場面を想定した食事、着替え、トイレなどの日常生活動作訓練を行っています。また理学療法士と共に患者さんの自宅を訪問し家屋調査を行い、自宅改修のアドバイス、福祉機器の選定、設置や家屋を想定した訓練に生かします。**言語聴覚士**は食べること、飲み込むことに障害のある患者さん、言語障害などのためコミュニケーションに障害のある患者さんに対して、評価、訓練を行っています。また、脳損傷による記憶、注意障害や運動麻痺が無いのに、日常生活動作が行えなくなる失行、失認などの高次脳機能障害のある患者さんの訓練、支援を行っています。**医療ソーシャルワーカー**は患者さんやご家族の方々が抱えている退院後の生活不安や社会生活上の問題（経済面や社会復帰の事など）の解決のための援助を行っています。また介護保険や利用可能な各種サービスの紹介・説明などを行い、他の

専門職と協力して在宅生活に向けたお手伝いをしています。**管理栄養士**は摂食・嚥下障害の患者さんに、適当な食材を選択したり、増粘剤を加えたりして、誤嚥することなく食事が摂れるように工夫しています。また、しばしば合併する糖尿病、高血圧、腎疾患の患者さんに対して、個々の特別食を提供しています。**義肢装具士**は歩行障害の患者さんなどに長・短下肢装具を作成し、早期の起立歩行訓練を援助しています。

以上のさまざまな専門技術・知識を持った医療スタッフがチームを組んで、定期的にカンファレンスを行い、個々の患者さんに応じたリハビリテーション実施計画書を作成し、それに基づいて集中的なリハビリを提供しています。

当院は松江圏域の地域リハビリテーション支援センターとして、退院後に適切な介護やリハビリテーションが提供されるよう、地域の実施機関、従事者を支援しています。



長期研修を終えて



西3階病棟
寺本美智子

私は看護師になり10年が経ちました。日々、変わらない時間が流れて行く中、自分はこのまま時間に流されていいのか悩んでいました。その時、悩んでいる私を察して、看護部長から人材交流で他病院へ長期研修に行ってみないかというお話を頂きました。生まれてこの方、島根から出たことのない私はとても悩みました。しかし、これも何かの縁であり、新しい自分を見つけられるチャンスかもしれないと長期研修に行くことを決心しました。

昨年の6月から今年の3月までの10ヵ月間、滋賀県の長浜市にある市立長浜病院にて長期研修を行いました。市立長浜病院は病床数676床の総合病院で地域に根ざし地域に愛される病院として60年の歴史ある病院です。長浜市は東には伊吹山系の山々、西には琵琶湖が広がり、豊かな自然に恵まれた街でした。また、かつて豊臣秀吉公によって開かれた城下町であり、松江市に景観がとても似ていました。そのためかとても快適に過ごすことができました。いつもは穴道湖を眺めながら通勤していますが、10ヶ月間は広大な琵琶湖を毎日、眺めながら通勤しました。

以前より循環器疾患に興味があり、3階南病棟の循環器科・心臓血管外科の病棟で研修をさせて頂きました。

優しさ、気づき、思いやりの看護理念をモットーに看護しておられ、スタッフの皆様が温和で明るい人ばかりで親切、丁寧に指導して頂きました。教育課程としては当院と同じクリニカルラダー（臨床看護実践能力習熟段階）を取り入れておられ、レベル別に色々な研修会を企画されていました。私もできる限り参加し、一緒に色々と学習させて頂きました。病棟でも医師を講師として、色々な学習会が企画されており、大変、勉強になりました。心カテテル検査や冠動脈バイパス術、弁輪形成術の見学、ICUの見学を行い、大変貴重な体験をさせて頂きました。

この研修で今まで経験したことのない多くのことを学び、自分自身も大きく成長することができました。とても充実した10ヶ月間でした。このチャンスを与えて下さったこと、市立長浜病院の方々とのご縁に大変感謝しています。この経験を大切に、これからの看護に活かしていこうと思います。



看護師のスペシャリスト

認知症看護認定看護師の資格を取りました!!



認知症看護認定看護師
荒木さおり

みなさま、はじめまして。認知症看護認定看護師の荒木さおりです。5月に行われた認定審査に無事合格し、認知症看護分野の認定看護師となりました。病院初の認定看護師、島根県内初の認知症看護認定看護師ということで周囲の期待を感じ、それがプレッシャーとなり身の引き締まる思いです。認知症看護の認定看護師を目指したきっかけは、祖母が認知症の診断を受け、自宅で介護をしていくうちに病態と看護に興味を持ったこと。また手術病棟でも認知症患者様と関わる機会が増え、一般病院での認知症看護の質の向上を図るにはどうしたらいいか学びたいと思ったからです。

半年間病院を離れ看護研修センター（東京）で認知症に関する専門的な知識や認知症患者様との関わり方を学んできました。そこでの多くの学びや全国から集まった仲間達との出会いは一生の宝となる貴重な経験になりま

した。研修に専念できたのも、病院関係者の皆様のご理解、育児を引き受けてくれた家族の支援があってこそで、大変感謝しております。

認定看護師の役割は専門分野における実践・指導・相談です。私の場合はもちろん認知症看護分野です。現在の活動状況は、学んできた認知症看護を所属病棟で実践している毎日です。関わりの良し悪しは患者様の反応で返ってくるので、患者様から笑顔をもらった時には大変励みになります。病棟ではできるだけ入院中の認知症患者様の事例を通してスタッフへの指導をしています。また今後は病院全体の認知症看護のスキルアップを図れるよう集合教育を計画しています。相談に関しては病棟の事例から徐々に他部署、患者・家族、地域へと活動範囲を広めていきたいと考えています。

認知症の介護でこれから大きな問題となるテーマは

「若年性認知症」「一人暮らしの認知症の地域ケア」「認知症の人が認知症の人を介護する認認介護」「初期から末期までの継続的なケア」であると言われています。認知症介護のポイントは周囲の接し方次第で徘徊などの症状を和らげることができること、家族（地域）が認知症を理解し受け止めることの大切さが言われています。しかし毎日切れ間なく介護を続けていくことは容易なことではありません。患者様とご家族様の立場に立って共に考えより良い解決策を考えていきたいと思っています。

病院では認知症の方が入院すると「困った患者が入院したな」と思いがちです。個別の病態と症状を十分にアセスメントして、その方の生活歴も考慮した関わりを持つ事で、患者様・家族様が入院生活を穏やかに過ごせるよう援助していきたいと考えています。

「ご自身やご家族の物忘れが心配」「認知症介護で困っていること」などいつでも気軽に声をかけてください。新米認定看護師ですが今後の活動にご支援・ご協力をお願いします。

看護師のスペシャリストとは…

高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりや看護の質向上を目的に、看護界の総意で資格認定制度が発足しました。その内の1つ「認定看護師」とは、特定の看護分野(19分野)において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができ、看護現場において、実践・指導及び相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上をはかります。

七夕コンサートを開催しました (96名参加)

今年も七夕コンサートを開催しました。沢山の患者様やご家族の方々に聞いていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

今回は、電子カルテ導入時期と重なりメンバーのスケジュールも合わず、練習不足が避けられないことからお休みすることも検討しましたが、少しでも患者様の楽しみになればと思い、開催を決定しました。(個人的には、あのホールで歌うと音響効果があって気持ちいい～ので歌いたかったというのが本音!? ですが…)

コンサートは、プロの歌からスタート。さすがは迫力ある歌声！ 伴奏もプロですから、私も出演者という立場を忘れて聞き入っていました。次に銭太鼓です。血のにじむ様な練習をされたかどうかは定かではありませんが、今までになく息ぴったりでした。続いてオカリナ演奏。これは血がにじみました！ 特に、「崖の上のポニョ」は難関で、今だに完璧に吹けません。いよいよコーラスです。今回は曲目を4曲に厳選し、観客の方と一緒に歌いました。いつものながら、会場に一体感を感じるひと時です。次は12月にクリスマスコンサートを予定しています。新型インフルエンザを歌い飛ばして、皆

フォレストアンサンブル
石倉陽子

様に楽しい音楽をお届けできるよう準備しておりますので、ご期待ください。



域連携室 からの お知らせ

当院は、初診患者さまの予約をお受けいたしております。初めての方は、地域連携室までお電話いただき、予約をとって、お出でいただきますようお知らせいたします。予約していただく待ち時間の短縮にもなります。

▶▶▶ 地域連携室(直通) TEL (0852) 62-1591・FAX (0852) 62-1579



平成21年7月1日より

入院医療費の計算(支払)方法 が変わりました

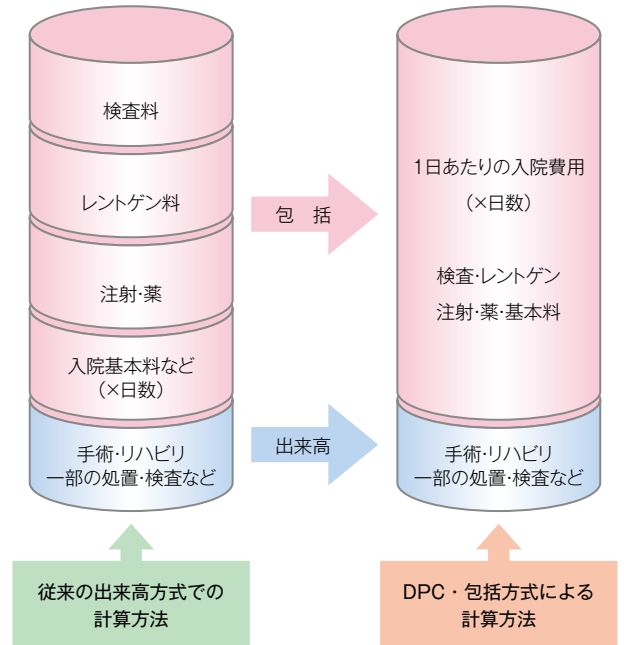
【入院医療費は『DPC(診断群分類別包括評価)方式』により計算されます】

DPC対象病院のお知らせ

厚生労働省が指定する一定の基準を満たした医療機関において適用される、DPC(診断群分類包括評価)方式という新しい医療制度の適用が玉造厚生年金病院でも導入が認められました。

- ◆『DPC』とは病名や診療内容に応じて分類されたもの(診断群分類)の内、約1400分類に対してそれぞれ1日あたりの費用を定めた新しい医療費の計算(支払)方式です。
- ◆従来の計算方法は診療で行った検査や注射、投薬などの内容に応じて医療費を計算する『出来高支払い』方式でした。
- ◆『DPC』では、病名や手術、処置などの内容に応じた1日あたりの定額の医療費を基本として全体の医療費の計算を行う『包括支払い』方式となります。

なお、手術やリハビリ、内視鏡などの専門的な技術料については、これまでどおり出来高払い方式での医療費が計算されますので、入院にかかる医療費は、定額分と出来高分とをあわせたものになります。



Q&A

すべての入院患者さまが この制度の適用となるのですか？

主治医が入院患者さまの病名や診療内容によって診断群分類のいずれかに該当すると判断した場合に、DPCで医療費を計算します。

病名が診断群分類のいずれにも該当しない場合や下記のような場合には、従来の計算方法(出来高方式)となります。

- 交通事故や労働災害等の自由診療で入院される方
- 高度先進医療の対象となっている方
- 平成21年6月30日までに回復期、亜急性期病棟へ変わられている方
- 入院後24時間以内に亡くなられた方

なぜDPCに変えるのですか？

DPCによる医療費制度は、平成15年度から大学病院や国立病院などの高度先進医療を行っている特定機能病院を対象に実施されていました。平成16年度より、一定期間厚生労働省の事前調査に協力し、かつ一定の施設基準などを満たした急性期医療を提供する一般医療機関も「DPC対象病院」として認められるようになりました。当院も医療の標準化と質の向上(どこの病院でも同じ病気であったら同じ治療を受けることができること)を行うことを目的として、平21年7月から「DPC」による入院医療費の計算方式を導入することになりました。

出来高方式と比べて、 入院医療費は高くなるのですか？

DPCでは入院している間の病名や行った手術等によって、1日当たりの金額が決まります。従って出来高方式と比べて病名により、高くな

る場合もあれば、安くなる場合もあります。

入院途中で病名、診療科が変わった 場合の入院医療費はどうなるのですか？

入院当初の病名から、入院後の治療や検査等で病名が変わった場合は、病名が変わった時点で入院時に遡って医療費の計算をやり直します。

DPC(包括支払い方式)では、患者様の入院中の治療における一つの主な疾病に対して設定されています。従いまして、入院中はその主な疾病の治療に専念させていただきます。

なお、歯科受診につきましては、従来どおり入院中でも別扱いとなります。

患者様の病気・治療内容によっては、この制度の対象にならない場合もあります。

ご不明な点等がございましたら医事課窓口までお問合せください。

(玉造厚生年金病院診療情報管理士 佐藤文恵)

かかりつけ医のご紹介

桑原整形外科医院

院長 桑原岳史



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 2:00~6:00	○	○	休	○	○	○	休

■ 休診日 / 日曜、祝祭日

平成10年4月、医師になって10年目に愛知県からもどり、父の医院に勤務しております。勤務医の頃は主にリウマチ、スポーツの診療に携わっていました。当初は入院もあり、手術も行っていました。近年は病棟は閉鎖し、外来診療のみ行っております。玉造厚生年金病院には、MRIの依頼、人工関節手術、脊椎の手術等でお世話になっています。また前院長である父が、現在、回復期リハビリテーション病棟に勤務しております。松江市内の整形外科開業医で、入院をしている医院が減少しており、軽症入院の行き先が限られてきている中で玉造厚生年金病院は保存的治療での入院を受け入れていただける数少ない病院です。今後も連携をとりながら、地域医療に貢献していきたいと考えています。



- 住所 / 〒690-0049 松江市袖師町9-26
- TEL / 0852-24-2200 ■ FAX / 0852-21-2200
- 診療科 / 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

かじたに整形外科医院

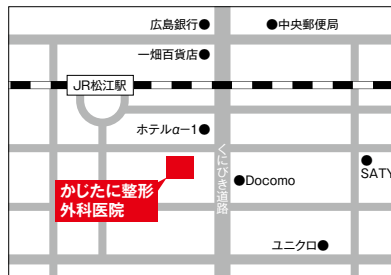
院長 梶谷健一



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
午後 3:00~6:00	○	○	休	○	○	2:00 ~ 5:00	休

■ 休診日 / 日曜・祝祭日・水曜午後
※月曜午前中診療の受付は12時まで

当医院は、金田整形外科医院を継承して平成16年7月に開業いたしました。私どもはかかりつけ医として地域医療の窓口となり、また他の病院との連携を重視して、地域医療の充実に努めています。玉造厚生年金病院は、整形外科の基幹病院として信頼して紹介しております。その医療レベルは高く、手術成績も極めて安定していることから、紹介した患者様から「良い病院を紹介していただいた」と、しばしば感謝されます。これからも連携を取りながら、地域医療に貢献したいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。



- 住所 / 〒690-0003 松江市朝日町452 あおとビル2F
- TEL / 0852-27-7722 ■ FAX / 0852-27-7722
- 診療科 / 整形外科

リウマチ教室を開催して

西3階病棟 大野晶美

7月16日(木)の午後、第14回リウマチ教室を当院第一会議室にて開催しました。

主な内容は桐原拓生薬剤師による「生物学的製剤について」と、竹下博雅MSWによる「社会資源についてMSWに聞いてみよう」という2つの講演を行いました。

また、休憩時間には井田聡美作業療法士の指導でリウマチ体操を行いました。今回は、天候が悪く参加数が15名といつもに比べ少なめでしたが、参加された方々とより身近に交流することができたことはよかったと思います。



当院のリウマチ教室は、島根県のリウマチ友の会の年間行事の一つとしてあげられています。担当スタッフは教室に参加される方々に最新の治療情報をお届けし、また、リウマチで一人辛い思いをしておられる方同士や家族、医療スタッフとの交流の場として使っていただき、リウマチとうまく付き合いながら日常生活が送れるようサポートしていきたいと考えています。これからも参加者の方の要望を取り入れるとともに、最新情報をタイムリーにお届けできるような教室の計画を行ってまいります。

今後の教室の予定

次回のリウマチ教室は、10月15日(木)に第一会議室で開催します。

講演のテーマは当院土江篤管理栄養士による「おいしくできる簡単料理」で試食も考えています。今まで参加されたことのない方でも興味のある方はどなたでも参加できます。料理を作るときに困っていることなど、みんなで話し合ってみませんか？ 沢山の参加をお待ちしております。

あ と が き

10月は目の愛護月間です。仕事や趣味で長時間パソコン画面やテレビ画面を見る機会が増えて疲れ目を引き起こしたり、エアコンで空気が乾燥してドライアイになる人が増えてきています。

そこで目をケアすることが大切となりますが、視線を上下左右に動かす眼球体操をしたり、濡らしたタオルを温めて目の上に三分程のせてリラックスするのもいいでしょう。

また、目の疲れに効果がある「風池」というツボがあります。これは、左右の耳たぶの裏にある出っ張った骨の下端から首の中央へ指幅2本分寄ったところにありますので、みなさん試してみてくださいはどうか。

生活習慣病教室開催

生活習慣病を考える会 廣澤美奈子

患者さまやご家族や地域の方に生活習慣病に関する知識についての学習会を9月3日(木)に開きました。

● 落合循環器科部長の

「生活習慣病と血圧管理について」

生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症)での脳卒中・脳梗塞の発症率が健康な人に比べ2倍、病気の種類が増える毎に倍、倍…に発症率が上がるというお話がありました。発症率を下げるためにも規則正しい食生活、禁煙、週3回以上の30分の運動を心がけるようアドバイスがありました。



● 薬剤師のワンポイントアドバイスでは

「糖尿病薬の正しい飲み方について」

食前薬を飲み忘れた場合

…途中または食べ終わって10分以内に飲む

食後薬を飲み忘れた場合

…次の食事までに時間がないなら飲まない

食事が食べられるか分からない場合

…食前薬は食事を食べてから飲む

どうしようかなと迷ったら、かかりつけ医に相談しましょう。

*生活習慣病を考える会スタッフ一同お待ちしております。

今後の教室の予定

3回目は、12月4日(木) 13:30~14:30

今、話題の新型インフルエンザを中心に「生活習慣病と感染症について」のお話を予定しております。

▶▶▶ ホームページを更新いたしました <http://tamahosp.jp/> ◀◀◀

理 念

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。

玉造厚生年金病院

〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL 0852 (62) 1560